

会派視察・研修報告書

会派名 新生自民

代表者名 葉狩 拓也

1 日 に ち	2025 年 5 月 8 日 (木)
2 視 察 先 研修名、主催者及び会場	2025 年日本国際博覧会 中部経済産業局 フューチャーライフヴィレッジ内 フューチャーライフエクスペリエンス
3 参 加 者	林 美行、葉狩 拓也、亀井 芳樹、獅子野 真人 以上 4 名
4 調査・研修の テーマ	大阪・関西万博へ多治見市が期間限定で出展した美濃焼ブースの視察
5 主な内容	現在開催中の大阪・関西万博フューチャーライフエクスペリエンス内で中部経済産業局が企画した、中部の魅力を発信するブースに伝統的な美濃焼、現代的な美濃焼の展示が行われた。
6 所感、提言事項、課題等	【議員氏名】林美行 「世界が集まる万博に中部の魅力を発信」という企画の中で多治見市が美濃焼をフューチャーライフエクスペリエンス内で出展しました。独自の文化や手仕事の美しさを発信するプランです。 万博は世界の人々や文化を身近に感じられ、つながりを深める大きな機会、多治見市では明治に西浦焼を中心にジャポニズムの空気を醸成するなどしており、文化や産業のこれからを考えると大事なことに感じました。確かに、世界が一つのものと強く感じることは出ました。 伝統的な美濃焼、現代的な美濃焼の展示は行われていましたが、明治の頃の気迫があまり感じられませんでした。美濃焼の持つ文化や作品を世界に理解していただくとするまち全体の熱気は余り感じられませんでした。産業戦略を立てる中で思い切った取組が今後なされることを楽しみに、万博会場を後にしました。

6 所感、提言事項、課題等	【議員氏名】 葉狩拓也 このたび中部経済産業局が主催し、関係機関および自治体と連携して開催された「フューチャーライフエクスペリエンス」の視察を行いました。本イベントは、「中部のホンモノ体験～未来の観光～」をテーマに、地域ならではの文化・技術・人材を活かした観光のあり方を体感・共有する貴重な機会となりました。 中でも注目して視察したのが、多治見市が出展した「美濃焼ブース」です。美濃焼という伝統と技術を背景に持つ地域資源の魅力発信の場であり、地元を代表する産業の発信として大変意義深いものでした。 ただし、ブース自体は他の出展と比べやや規模が小さく、展示内容や体験要素についても、もう一步踏み込んだ工夫があれば、より多くの来場者の関心を引きつけられたのではないかという印象を受けました。 とはいえ、美濃焼の魅力そのものが失われているわけではなく、今後の見せ方やストーリー性の付加によって、さらに強い発信力を持つ展示に育てていくことが可能だと感じました。特に若い世代やインバウンド観光客に向けたアプローチ、デジタルツールの活用などによって、伝統と現代感覚の架け橋となるような試みが期待されます。 今回の視察を通じ、多治見市の観光資源や文化産業の持つ可能性を改めて実感するとともに、今後の観光戦略においては、地域の強みをどう効果的に「伝えるか」が重要な視点であることを学びました。市政の中でも引き続き、観光と産業の融合を推進してまいります。 【議員氏名】 亀井芳樹 大阪・関西万博 2025「中部のホンモノ体験」美濃焼展示参加報告 2025年5月8日、大阪・関西万博「フューチャーライフゾーン」内のフューチャーライフヴィレッジにて、経済産業省中部経済産業局主催の「中部のホンモノ体験」展示に参加しました。 岐阜県多治見市を代表する美濃焼を中心に、中部地域の伝統工芸が紹介されました。会場では、志野焼や織部焼の温かみのある茶碗や皿が展示され、多くの海外および日本の来場者がその美しさに魅了されていました。1300年の歴史を伝えるパネルも印象的で、伝統の深さを実感しました。現代的なデザインの食器も並び、伝統と革新の融合に感銘を受けました。 本展示を通じ、多治見市の観光振興への期待が膨らみました。今後は、国際的な美濃焼のPRを一層強化すべきと考えます。
----------------------	--

	【議員氏名】獅子野真人 多治見市ブースでは「美濃焼の未来と可能性」をテーマに、伝統技術と革新的な作品が展示され、来場者の注目を集めていました。伝統的な作品に加え、若手陶芸家の自由な発想による作品や、VR 陶芸体験、地域連携による特産品紹介など、多角的な魅力発信が印象的でした。今後も国内外問わず発信していけると良いと考えます。
7 写 真 等 ※視察の場合は必須、研修の場合は任意	

※視察先、研修先ごとに1枚作成すること。

※「6 所感、提言事項、課題等」は、参加者全員分を記載すること。